



福山赤坂ロータリークラブ週報

第 587 回例会

2009 年 4 月 28 日(火)

2008～2009 年度

国際ロータリー会長 李 東 建

●会 長 佐藤俊之
●幹 事 今井尚正
●SAA 角田英純

●副会長 武田正敏
●会 計 武郷義昭
●副幹事 徳永雅俊

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276

事務所 福山市赤坂町赤坂 1276

T E L (084) 920-4141

F A X (084) 920-4140

ホームページ <http://www.fa-rc.jp>

E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

◆ゲスト 福山青年会議所 理事長 大島 衣恵 様 能楽師
内海源太郎さん

◆喜寿祝い

赤坂英一さん 佐藤和美さん 藤原美則さん 田中信一さん
福本 巽さん

◆マルチプルポールハリスフェロー

佐藤俊之さん

◆会長報告

皆さんこんにちは。本日 11 時 30 分、福山赤坂ロータリークラブ事務局において、理事会を開催いたしましたのでそのご報告をさせていただきます。

②□ 月度の予算実行状況が承認されました。

②プログラム変更が承認されました。06/02：ゲスト卓話 子どもサポネット「ハートフル」代表 小林眞理子氏

③5 月度プログラムの内容が確認承認されました。

① 05/05：休会 定款第 6 条第 1 節

② 05/12：職場例会：日本化薬

③ 05/19：地区協議会報告

④ 05/26：クラブ協議会：新旧委員会連絡

⑤ 06/02：ゲスト卓話 子どもサポネット「ハートフル」代表 小林眞理子氏

④クラブ研修リーダー選任の件

杉原康生パスト会長 以上で理事会の報告を終わります。

先日からロータリアンの三大義務について述べさせて頂いております。本日は会費納入についてお話しさせていただきます。「会費」については定款第 11 条において、「全ての会員は、細則の定める入会金、及び年会費を納入しなければならない。ただし、第 7 条第 4 節に従い、本クラブの会員として受け入れられた、移籍する会員あるいは他クラブに属していた元会員は、2 度目の入会金の納入を要しないものとする。」とあります。また、定款細則第 6 条第 2 節において「半年毎の各支払額のうちの一部は各会員の R I 公式雑誌の購読料に充当するという了解の下に、毎年 2 回 7 月 1 日及び、1 月 1 日に納入すべきものとする」とあります。そして、定款第 12 条（会員身分の存続）第 3 節（終結—会費不払）において「所定の期限後 30 日以内に会費を納入しない会員に対しては、その分かっている最新の宛先に、幹事が書面をもって催告しなければならない



い。催告の日付後 10 日以内に会費が納入され²なければ、理事会の裁量に従って当該会員の会員身分を終結して差し支えない」とあります。

7 月と 1 月にはガバナー事務所に地区負担金を約 35 万円、R I へ人頭分担金を約 10 万円、米山記念奨学会へ約 8 万円合計 53 万円位支払わなければなりません。

特に、7 月は年次大会の負担金の 23 万円も支払いますので前期 7 月は 76 万円になります。

◆幹事報告

◆出席報告 ○会員数 38 名 ○出席率 96.97%
 欠席者 2 名 赤阪さん 西川さん

◆申告スマイル

佐藤俊之会長……大島衣恵さん、内海源太郎さんようこそいらっしゃいました。本日のプログラムでのお話楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

武田正敏さん……福山青年会議所 大島理事長、内海セクレタリーご多忙のところありがとうございます。卓話よろしくお願いいたします。先日、中国新聞にて当社を紹介いただきました。感謝

今井尚正幹事……福山青年会議所 大島理事長、内海理事セクレタリーご多忙の中ようこそおいでくださいました。大島理事長よろしくお願いいたします。本日、三女 念願の企業より内定いただきました。子供に変わり倍スマイルします。

徳永雅俊さん……福山青年会議所 大島理事長 内海セクレタリーようこそおいでくださいました。大島理事長本日の卓話よろしくお願いいたします。

角田浩樹さん……先週土曜にわが一心グループ会長、眞田会長にクルージングに連れて行っていただきました。とても心地良い気分になりました。ありがとうございました。また、連れて行ってください。

岩永光司さん……続けて例会を欠席し申し訳ございません。今日からまた よろしく願います。本日は大島様、内海様ようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしております。

角田英純さん……福山青年会議所 大島理事長、内海セクレタリーようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願いいたします。佐藤和美さん、藤原さん、赤阪さん、田中さん、福本さん 喜寿おめでとうございます。これからもご指導よろしくお願いいたします。

◆プログラム：ゲスト卓話：「わを以って尊しとなす」：大島 衣恵 様

本日は福山赤坂ロータリークラブの例会にお招きいただきありがとうございます。

私の理事長所信に「わを以って尊しとなす」としました。

和 日本そのもの、日本の伝統文化 和む

話 話す、会話

輪 世界への広がるつながりの輪



呼吸について

普段、私たちはどのように呼吸をしているでしょうか。日常生活の中で、現代人は非常に呼吸が浅くなっているといわれています。息が浅くなると、体も心も循環が悪くなります。現代日本人の心身が脆くなったり、不安定になったりする原因の一つが呼吸にあるとも言われています。誦う時には丹田に力を込めた、腹式呼吸が欠かせません。深く大きな息で、健やかな心と体を目指しましょう。

やさしい呼吸法

- ①いつもは意識することなく行っている呼吸に、ご自身の注意を向けてみましょう。
- ②その息を出るだけ長くしてみてください。このとき、吸うのは軽く鼻で、吐く息を口から長く吐きます。
- ③そしてその息の元を、だんだんと体の深いところへ下げてゆき、胴回りの力で呼吸をします。
- ④体内に息を残していると、息が上がって苦しくなります。吐き切ってから息を継ぐよう心がけましょう。

誦いについて

能では、ウタの部分、セリフの部分ともに、声楽的な要素全てを「誦い」といいます。誦う時の姿勢は、基本的には図のように正座をして、両手に扇を持って誦います。身体全体に一本筋を通すようにして座り、腰を入れてしっかり身体を起します。椅子にかけて誦う時も同様に、腰を入れて背筋を伸ばします。肩で息をしないよう、両肩を落とし、肘は丸みを持たせて脇を少し透かせます。顎を引き加減にして、前方少し下に視線を定めて誦います。下腹部（丹田）を意識しながら、深く息を吸い、お腹で息を押し出すようにしながら誦います。遠くに向って声を届けるようなイメージです。この際、息を最後まで吐き切るようにしてください。喉の奥を大きく開け、決して喉に力が入らないようにして誦いましょう。



能「高砂」は、長く栄え続ける松の木が誦われています。古来様々をおめでたい席では欠かせないものとして、広く愛されて来た人気曲です。

おめでたい誦を一語誦うことを、祝言小誦（しゅうげんこうたい）といいます。千秋楽で始まるこの一語は、一日の最後をめでたく締めくくる、付け祝言としてもよく誦われている箇所です。

△千秋楽は民を撫で、萬歳樂は命を延
ぶ相生の松風颯々の聲を樂しむ颯々の
聲を樂しむ

次回例会

5月 5日（火） 休会

5月 12日（火） 職場例会（榊日本化薬福山工場）

◆情報集会

